

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

6月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「キシメジ科 シイノトモシビタケ」
シイの朽木に生息し、幻想的な光を放っています。自然塾では毎週土日観察会を行っています。



「タテハチョウ科 ルリタテハ」
開帳 50 mm～60 mmの中型の蝶。花にはあまり訪れずクヌギなどの樹液を好みます。



「スズメガの仲間」
翅は身体に対して小さく三角形になっていて高速で飛行します。



「ガガイモ科 シタキソウ」
常緑つる性の多年草です。日本特産で海岸沿いの林下に生え、芳香を放ちます。



☆「ヤマモモ科 ヤマモモ」☆
山に生える木で、桃のような果実をつけることから名付けられました。



☆「トウダイグサ科 アカメガシワ」☆
平地や川の土手など二次林に多く見られる落葉高木です。枝先に穂になって花をつけています。



☆「ショウガ科 アオノクマタケラン」☆
湿った林下に生える常緑多年草です。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ種に指定されています。



☆「ラン科 ネジバナ」☆
らせん状に咲く花が可憐な多年草です。右巻きと左巻きの比率はだいたい1対1です。



☆「ユリズイセン科 アルストロメリア」☆
南アメリカ原産です。和名は百合水仙。沢山の種類があり花持ちが良いので切り花として人気です。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

梅雨に入り新緑の木々が生き生きしていますね。
生き物たちの活動を観察しにお越しください♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2018年6月後半号



